

第1回 みんなで考える家庭ごみ減量会議～琴浦自分ごと化会議～ アンケート結果

1. 会議開催日時

令和3年9月18日（土）13：30～16：30

2. 回収状況

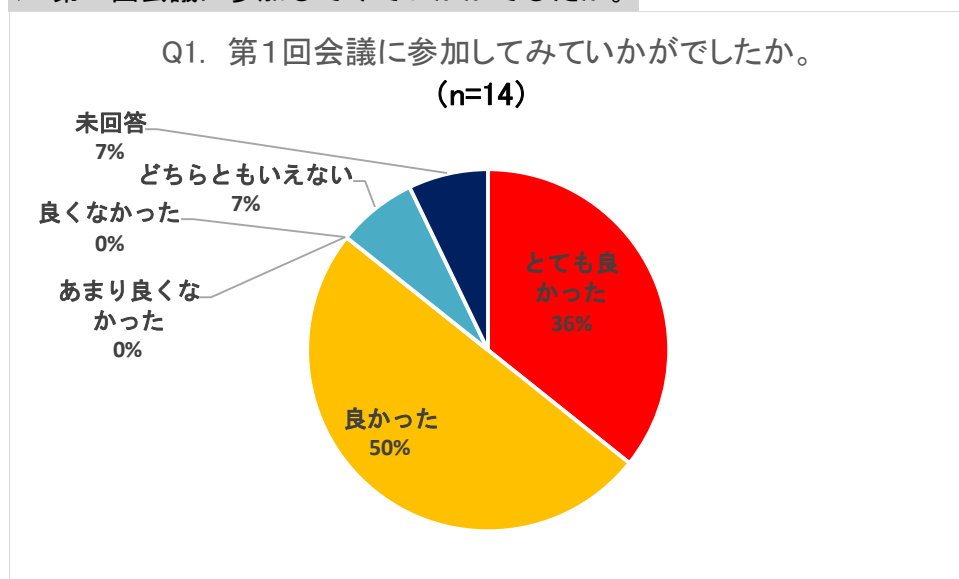
○会議出席者数：14名

○アンケート回収数：14部

⇒回収率：100%

3. アンケート集計結果

Q1 第1回会議に参加してみたいかがでしたか。



Q2 会議に参加しようと思った理由は何ですか。（自由記載）

- 廃棄物の排出と処理について学びたかった。
- ゴミ問題は今後、大きくなるため。勉強していきたい。
- ごみ問題は、もともと関心がありました。要請がきたとき、少しでも町のためになれば、役に立てれば、と思い参加しました。
- ごみ減量への具体的な方法が思い浮かばなかったので、勉強しようと思ったから。
- 「ごみの分別が本当に環境にいいのか」「分別＝ごみの削減は何か違う」「高齢の人が多く中でごみの分別は負担にならないのか、対応できるのか」等思ったから。
- SDGsに興味がある。町としてより良くなってほしい。
- 興味のある分野だったので。自分では頑張っているつもりだけど、一人で頑張っても意味がないと感じたから。
- あてられたから
- 琴浦町に住んでいながら、町との関わりがほとんどない。身近な話題から関わっていければと思った。
- 自分ごとにとらえて、琴浦町の役に立てばと思いました。
- 環境に対するごみ問題は重要な案件である。私たちができる対応について検討したい。

- 家庭ごみの勉強をしてみようと思った。
- できそうなことが色々ありそうな議題だったため。

Q3 現在、既に取り組んでいる家庭ごみの減量方法や、今後挑戦してみたい家庭ごみ減量の取り組みがあれば教えてください。(自由記載)

- 再生できるものは分別している。
- 今までも実施されているが、生ごみを各家で処理し、土に還すこと。(テレビでやってみました)
- 生ごみは畑の土へ。紙ごみはできるだけ再生資源ごみへ。いらぬものは買わない&もらわぬ。町の蛍光灯回収ボックスなどを利用する、など。
分別マニュアル(町配布)をよく読む。廃棄後のことまで考えてある商品を購入する。
- ・生ごみの水切りをもっとしっかり行いたい。
・分別表をしっかりと覚える。
・生ごみ処理機の補助ができれば活用したい。
・軟質プラスチックの回収はとても良い。ずっと行っているが、今後も続けたい。
- ・所有物を増やさない
・モノを購入する際に「本当に必要なモノか」熟考する
・冷蔵庫の中を整理する
・家の中を整理するとムダ買いが減ります!
- ・使い捨てのものを使わない
・必要ないものはタダでももらわぬ
・軟質プラスチックを分別して出している
・高くても長く使えるものを買う
・エコバック、マイボトル、弁当持参
・食品ロスを出さない
- コンポスト、軟質プラスチック出し、電球出し
- 軟質プラスチックの回収を利用して。不要なものを購入しないようにする。
- ごみを家庭菜園に埋めることはしている。プラごみの分別もやっています。
- 生ごみ処理機を10年以上使用している。大きな成果と考えている。
- 分別(雑誌、ペットボトル、パック等、軟質プラスチック以外)を行っているが、生ごみを畑に(コンポストで)を取り組みたい。
- エリアによる管理ができればおもしろそうだなーと思います。

Q4 次回以降議に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。(自由記載)

- 生ごみは、畑のある人は畑の土に埋めるのはためなのでしょうか? 処理機は電気を使って、結局は温室効果ガスを出してしまい、環境負荷が高いと思います。家電製品、部品製造期限が短い製品が多く、(5年とか7年とか)これも不燃ごみが減らない原因だと思います。各メーカーにも声を上げていく必要があるな、と思いました。
- 皆さんが色々な意見を発言されていたので感心!! 率直で素のままの発言があったのが良かったと思う。本当の生の声だと感じた。
- 途中から話がそれすぎ。時間ももったいない。一人ひとり意見を聞くのは大切だが、それを仕切る側の能力が足りない。意見をアンケート化してその全てにおいて次回回答をすとかでヨシ!

- 軟質プラスチックが燃料になってしまうのは残念ですが・・・いい取組だと思しますので続けてほしいです。家庭ごみの水分量が大きな問題だと感じました。
- いろいろな人の意見が聞けてよかった。
- ごみは焼くものだという事はほんと？ほかの処理方法は？最終処分は埋め立てしかないの？いっぱいになったら作ったら？
- 次回はもう少し発言できるようにがんばりたいですが、無理かもしれません・・・。メモには色々書かせてもらったのですが・・・。
- かたいプラスチックを分別しない理由が知りたい。
- 生ごみ処理機補助金交付要綱再度施行し、補助金額を増額願う。
- 生ごみが問題であれば、問題解決のための補助金を出していくべき。
- ごみの話だったと思うので、紙の資料を減らしませんか。前回の郵送で資料はもらっているので持参でいいと思います。

封筒も、飲み物、コースターも不要だと思います。

こういった会議体なので、次第、お名前の配席表など無くせるものは無くしていきたいです。メモもノート持参で行きましょう。”